

(1)事業の概要等

事業番号	B0200
実施計画事業	
実施計画事業以外の事業	○

令和5年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	人権擁護事業					担当部			市民生活部									
	事業期間	昭和63年度以前	～	令和7年度以降		担当課			市民安全課										
	小牧市まちづくり推進計画(R1年～R4年)	分野別計画編	基本施策	2	展開方向	担当係			相談係										
	予算区分	一般会計	款	2	項	7	目	1	大	5	中	1							
	根拠法令・個別計画	人権擁護委員法					事業種別			一般事業									
	目的・成果 (何のために、どのような成果を期待するか)	<p>○人権擁護委員は、心配ごと相談で相談を受付し、基本的人権が侵犯されることのないように監視・活動を行う。</p> <p>○人権思想の普及高揚に努めるため、人権教室・人権作文コンテスト・人権を理解する作品コンクール及び人権パネル展を行い啓発活動を行う。</p> <p>○幼稚園・保育園児、児童・生徒等へのいじめ等の差別のない世界に向け、小さなころより人権の大切さ学ぶ。</p>																	
	対象 (何・誰を対象に)	市内在住の市民及び市内在勤者、保育・幼稚園児、児童・生徒等																	
	内容・手段 (目的達成のためにどのような事業を実施したか)	<p>【令和4年度実施内容】</p> <p>○心配ごと相談を行い相談を受付し人権侵犯の監視を行う。 毎週水曜日・金曜日 9時～15時 ※令和4年度相談件数 139件</p> <p>○幼稚園・小中学生に人権教室、中学生に人権作文コンテスト、小中学生に人権を理解する 作品コンクールをとおして人権について啓発し人権思想の普及に努める。 人権教室12月～1月(篠岡中、光ヶ丘・小牧小、大山・陶保育園) 人権作文コンテスト 8月 人権を理解する作品コンクール 12月</p> <p>○いきいきこまき及びパネル展示を行い、一般市民及び来場者に人権思想の高揚を促す。 いきいきこまき 11月20日 パネル展示 12月2日～12日</p> <p>●直接経費(令和4年度)</p> <table border="0"> <tr> <td>消耗品費(啓発物品)</td> <td>83千円</td> </tr> <tr> <td>委託料(人権擁護活動事業委託)</td> <td>166千円</td> </tr> <tr> <td>負担金(春日井人権擁護委員協議会)</td> <td>148千円</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>8千円</td> </tr> </table>											消耗品費(啓発物品)	83千円	委託料(人権擁護活動事業委託)	166千円	負担金(春日井人権擁護委員協議会)	148千円	その他
消耗品費(啓発物品)	83千円																		
委託料(人権擁護活動事業委託)	166千円																		
負担金(春日井人権擁護委員協議会)	148千円																		
その他	8千円																		
受益者負担	無																		

(2)事業費

事業費	項目	単位等	R1	R2	R3	R4	R5
			直接経費	財源	千円	408	224
	一般財源	千円					
	国・県支出金	千円					
	その他	千円					
	計(A)	千円	408	224	297	405	
	対前年比	%	—	54.9%	132.5%	136.3%	
	予算額	千円	455	459	459	454	453
人件費	正規職員	人	1.00	1.00	1.00	1.00	
	正規職員(平均賃金)	千円	7,486	7,486	7,486	7,486	
	その他職員	人					
	その他職員(時給×時間)	千円					
	計(B)	千円	7,486	7,486	7,486	7,486	
	事業費合計(C=A+B)	千円	7,894	7,710	7,783	7,891	

## (3)業績

展開方向における指標の推移			基本施策	2	展開方向		
指標名	単位	方向性	基準値	R2	R3	R4	R5
1							
2							
3							

指標	指標ほか		単位		R1	R2	R3	R4	R5
	成果指標			目標					
				実績					
	活動指標	心配ごと相談の 受付件数	件	目標	—	—	—	—	
				実績	148	136	115	139	
	活動指標	人権教室の実施 校数	校	目標	3	3	3	3	3
				実績	3	0	0	3	
	単 位 あ た り	受益者数(a)		人	—	—	—	—	
		受益者あたり事業費 (=C/a)		円	—	—	—	—	

## (4)事業の評価

事業の評価	事業の方向性	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの				
	事業の達成状況と課題	<p>国民の基本的人権が侵犯されることのないように監視し、もしこれが侵犯された場合にはその救済のためすみやかに適切な処置を採るとともに、常に自由人権思想の普及高揚に努める必要がある。</p> <p>従来から、人権擁護委員は心配ごと相談、人権作文コンテスト、人権を理解する作品コンクール、いきいきこまきでの啓発活動、人権教室の開催など、人権擁護に関する活動を行ってきた。</p>					
	今後の実施内容	<p>これまでと同様、引き続き人権擁護活動を行い、基本的人権が侵犯されることのないよう監視し、自由人権思想の普及活動に努める。</p>					
事務事業評価による額	千円		節	細節		細々節	